

生まれた時から人は不平等。
でも、法律だけは平等じゃ無いとダメ！

権利や法律の適用に関しては誰もが平等！

誰しも生まれてくる家を選べない。お金持ちの家に生まれる人もいれば貧しい家に生まれる人もいる。日本に生まれたならまだラッキーだ。戦争中の国や食料が行き届かない国など、世界には厳しい状況の中に生まれてくる子どもがたくさんいる。だから世の中は正直言って"不平等"。でも日本国憲法14条には『平等』と書いてある。じゃあ一体何が平等なのか？

①**法の下での平等**：法律の適用に関しては平等

②**個人の尊重**：一人一人が幸せになる権利は平等

③**男女の本質的平等**：男も女も平等

④**参政権の平等**：清き一票は、みんな平等に一票



なんかどれも当たり前のことを言ってるみたいだけど、わざわざ書くほど大事なことなのかな？

カッキー、良いところに気が付いた。この平等権はどれも"当たり前"の事なんだ。でも、それが当たり前じゃ無い場合がたくさんある。(当たり前の話だけど) 不平等って不平等になってみないと実感かわからないから、ちゃんと前もって規定しておかないといけないんだ。実際今も不平等に苦しむ人がいるよ。そんな人達を救うために憲法は「平等」を規定しているんだ。

①**法の下での平等**：特権を持って罪を免除される人は作っちゃいけない

②**個人の尊重**：「〇〇だからいいよ」と言う考えはいけない

③**男女の本質的平等**：「男だから」「女だから」で差別してはいけない

④**参政権の平等**：当選するのに必要な数に差が出る「1票の格差」はあってはいけない